

17 生涯を通じた健康づくり推進プロジェクト

概要

高齢化が進む中においても、県民誰もが生涯を通じて、健やかに心豊かに生活できるように、全てのライフステージを通じた健康づくり推進の取組を展開する

重点策

- 60 県民の主体的な健康づくりの推進
- 61 県民の健康づくりを支援する環境づくり

(1) 成果指標の状況・県民実感度調査の結果

成果指標	進捗状況	指標数	主な指標			
	★★★★★ (目標を達成)					
	★★★★ (計画を上回る)					
	★★★ (ほぼ計画どおり)	2	市町、職域等を含むがん検診受診率 等			
	★★ (計画を下回る)					
	★ (計画から大幅に遅れ)	1	山口県健康エキスパート薬剤師数 等			
— (数値が未公表)	2	特定健康診査実施率 等				
県民実感度調査 (%)	調査項目			そう思う	どちらともいえない	そう思わない
	生活習慣病の予防など、県民の健康づくりに向けた対策が進んでいる			43.2	35.8	21.0

(2) 主な取組と成果

主な取組と成果

- 「やまぐち健幸アプリ」の運用により、健康づくりに関する個人の取組の「見える化」「日常化」を図るとともに、健幸アプリの普及による**個人の健康行動データ蓄積**に向けた**基盤を整備**。
 やまぐち健幸アプリダウンロード数：**60,000件**（令和5.7月末）
- 企業を通じた働く世代への健康増進の働きかけを促す「**やまぐち健康経営企業認定制度**」の**取組拡大**などにより、県民の**主体的な健康づくりを支援**する仕組みの充実化。
 やまぐち健康経営登録企業数：1,155社、うち認定：707社(令和4年度末時点)
- 「**やまぐち健康応援団**」の**登録事業所拡大**により、県民の主体的な健康づくりを支援する仕組みを充実。
 やまぐち健康応援団登録事業所数：**2,663事業所**（令和5.7月末）
- これまでの8020運動や、官民協働「健口スマイル」推進事業により、80歳で20本以上自分の歯を残す**8020の達成者が増加**。
 8020の達成者：36.9%（平成27年度）→**55.4%**（令和4年度）
- **健康エキスパート薬剤師**の登録を推進するとともに、健康エキスパート薬剤師による薬と健康相談キャンペーンの開催やオンライン健康サポートを実施。
 薬と健康相談キャンペーン：県内スーパー4か所（7/31開催、参加者142名）、海峡メッセ（11/13開催、参加者約270名）

(3) 課題と今後の展開方向

課題と今後の展開方向

- コロナ禍において、屋外活動が減少し、身体機能の低下が懸念されるほか、全国と比較し、野菜摂取量は少なく、食塩摂取量は国の目標より過多であることから、県民一人ひとりが意欲を持って健康づくりに取り組めるよう、健康づくりの「見える化」・「日常化」を推進していく必要がある。
- 特定健診の実施率は全国平均より低く、さらなる受診促進を図る必要があること、また、歯周病について歯科健診（検診）により早期から対策を取ることが重要であることから、市町や保険者、関係団体、企業との連携を強化し、受診機会等の拡充や受診勧奨の促進など、健康づくりに向けた健診（検診）を一層推進する必要がある。
- 県民各世代への歯・口腔の健康づくりを進める必要があるため、健口スマイル推進事業により、口腔ケア意識の浸透や、ライフステージに応じた口腔機能の獲得・維持・向上のための歯科保健事業などの健康づくり施策を展開する必要がある。
- 県民誰もがそれぞれの年代等に応じた健康づくりを積極的に取り組める環境づくりを進めることが重要であるため、登録者が着実に増加している「やまぐち健幸アプリ」をはじめ、「やまぐち健康応援団」、「やまぐち健康経営企業認定制度」などを連携させて展開し、健康づくりを一層推進する必要がある。
- 健康エキスパート薬剤師の登録・啓発を進めつつ、県民自らの健康づくりがより効果的に進むよう、健診結果等を活用し、相談者に応じた健康サポートを実施するなど、薬学的な健康サポートの推進を図る必要がある。

(参考) 令和5年度の主な新規・拡充取組

新 やまぐち健診（検診）受診総合促進事業

県民の健康寿命延伸のため、疾病の予防・早期発見につながる健診（検診）受診率向上に向けて、歯科健診を含めた各健診（検診）の同時実施やかかりつけ医師・歯科医師・薬剤師を通じた受診勧奨、就労世代への歯科健診等実施。

拡 薬学的な健康サポート推進事業

総合的に県民に対応できる薬剤師を確保・見える化するとともに、県民自らの健診結果の活用など新たな取組を通じて、疾患や年齢層に応じた効果的な健康サポートを推進。